

震災後のわが社 ～復興に向けた思い～

弊社は、川俣町山木屋地区で自動車部品のガータースプリング製造を本業として、1972年に創業しました。2004年からは、自動車部品の製造のみならず山木屋の工場の一角を活用し、北海道産の大豆を使った納豆の製造・販売も開始するなど、食の分野にも挑戦して参りました。それから40年以上、地域の皆さまに支えられながら、山木屋の地で営業を続けてきました。しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災、それによる原発事故の影響で山木屋から避難することを余儀無くされました。自動車部品の製造を行う環境を失ったとともに、納豆の製造も中止。私自身、今後の見通しや、従業員の雇用をどう守るか悩んでいたところ、福島市に工場がある元請け会社でもあります、NOK株式会社様に声をかけて頂き、工場の一室をお借りすることで、なんとか従業員全員の雇用を守ることができました。それにより、自動車部品の製造を再開させることができ、何とか40年以上続くカミノ製作所の主の事業を継続させることができましたが、納豆の製造は再開することはできずにいました。食品である納豆の製造は、原発事故による風評被害の影響も大きく、再開させることは困難かもしれないと、諦めかけたこともありましたが、そのような時でも支えて頂いた故郷の皆様のことを思うと、行動せずにはいられませんでした。私たちがカミノ製作所の使命は『事業を通して、山木屋に恩返しすること』だと、その時に改めて強く感じるようになりました。そして、川俣町山木屋地区の避難指示が解除される前の2015年に、納豆の製造を再開することを決断します。そして、再開させるならば、食を通して風評被害を払拭したいと「山木屋から世界一安全な納豆を作る」ということを目標に掲げ、もともと自動車部品の製造を行っていた工場内の施設を一新。医療の現場などに主に使用されている、外気を遮断するクリーンルームという高性能の設備を導入し、食品の放射線量の測定なども行える設備も用意しました。そして、納豆の製造機械も新たに購入し、これまで以上に安心して食べて頂ける食品作りに全力を尽くしました。とはいえ、その道のりは決して楽なものではありません。原発事故の後、ほとんどの社員が福島市で生活をしてきたため、納豆の製造を行うために、福島市から片道1時間ほどかかる道のりを、車で通勤してもらっていました。従業員には多くの苦勞をかけましたが、地域の皆様にこれまで支えられていた分「次は私たちが復興に向けた光にならなくてははいけない」という気持ちで、山木屋で納豆を作り続けてきました。納豆に使用する大豆は、これまでの北海道産大豆の他に、地元福島県産の大豆を使用したいと、鮫川村の農家の皆様にご協力をお願いして、イソフラボンが従来の大豆よりも1.2倍含まれている「ふくいびぎ」という大豆を使用した納豆の生産を開始。品名は、川俣町にある「女神山」から名前をいただき「女神の納豆」と名付けました。粒が大きく口に含んだ際に、程よく甘味を感じる女神の納豆は、おかげさまで県内はもとより、東京都内のスーパーなどでも販売させて頂くことができ、大変ご好評を頂いております。震災と原発事故という大変な災害もあり、何度もくじけそうになりましたが、行政の皆様や地域の皆様に支えていただきながら、ここまで事業を継続することができました。そして、今年の5月24日には、川俣町鶴沢地区にある西部工業団地の新たな工場へ、自動車の製造部門も川俣町に完全に移行することができました。これでカミノ製作所にとって、ようやく元の故郷でのスタートラインに立てたところであります。新たな工場でも、皆さんに信頼して頂ける製品作りに精進して参ります。また、これまで大変な苦勞をかけてきた社員の健康管理の元となり、ここが憩いの場になってほしいとの願いを込めて社員食堂も準備致しました。この社員食堂で提供する食材には、この地で採れたお米や野菜を使い、この食堂で働く方も、工場のある鶴沢地区の皆様にお手伝いを頂いております。この工場を川俣町での新たな雇用の場の創出につながるほか、復興の息吹を感じられる場所にするという決意を新たにしたところであります。弊社が大切にしていることは『地元にこだわり、地元の方たちと一緒に製品を作り続けること』です。これまで辛く苦しい時期もありましたが、そんな中でも地元の絆を分断してはいけないという決意を持って、ここまで進んで参りました。これからも川俣町の未来のために、弊社が雇用の受け皿となり続けられるよう、製品作りに邁進して参ります。弊社は、これからも誰より地域と社員を大切に作る会社として、皆さまの健康づくりや生きがいづくりにお役に立てる存在であり続けます。今後は、弊社の新工場の食堂も一般解放することも考えております。この場所が皆様にとっての拠り所となり、会話の花を咲かせていただける場所になることも期待しております。川俣町山木屋地区の避難指示が去年の3月31日に解除され、弊社の機能も全て川俣町に戻るなど、未来に向けた光が見えてきた一方で、まだまだ課題も山積んでいます。その課題を一つ一つクリアし、また震災前の風景を取り戻すことができるよう、今後とも目の前の仕事に一生懸命向き合い、前に進んでいきたいと考えております。関係者の皆様には、今後とも引き続きご支援のほど賜りますようお願い申し上げます。

震災後のわが社

～被災地再開事業所紹介～

有限会社 カミノ製作所

所在地: 福島県伊達郡川俣町

事業内容: ガータースプリング製造、納豆製造



本社



スプリング事業部内



納豆自動販売機



納豆工場1



納豆工場2



スプリング事業部食堂